

# 人材確保の第一歩に キルギス人インターン生受け入れ



宮川恵美子 施設長

有料老人ホームハートケアスマイルハウス（千葉県習志野市、宮川恵美子施設長）は、タツフト（東京都品川区、笹尾隆文社長）が実施する介護外国人マッチング事業を活用し、2月から4人のキルギス人学生を受け入れている。

同事業は、介護事業所がキルギス人学生に介護技術や日本語を学んでもらうとともに、将来の人材確保につなげようというもの。

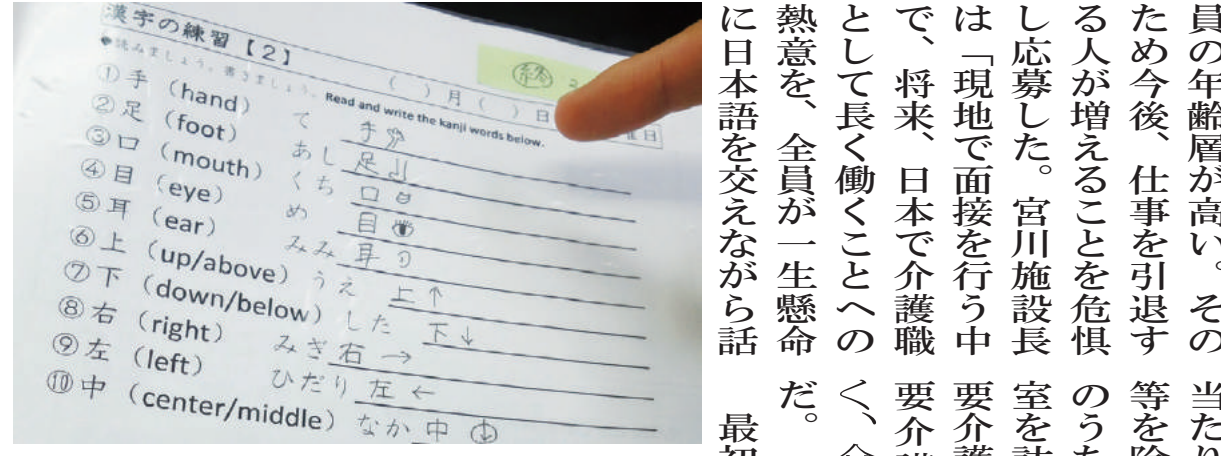
「人手不足が深刻になる中で、外国人という選択肢が増えました。一方で、コミュニケーションや技量などに不安を抱くのは事業所だけでなく、これから日本で働こうと考えている外国人も同じです。この事業ではマッチングを通して双方の不安を解消することを目的としています」と笹尾社長は事業の主旨を話す。

インターン生は同国立大学や医療専門カレッジの日本語コース参加者。在学生のみではなく卒業生も対象だ。既に昨年6月～8月と11月～今年1月に各3カ月間実施されているが、施設の要望に合わせて柔軟なスケジュール対応ができる。



昼休みには業務の話もよくあがる

現場ではそれぞれに担当職員を付け、一日の業務も学びもマンツーマンで。現場ではそれぞれに担当職員を付け、一日の業務も学びもマンツーマンで。現場ではそれぞれに担当職員を付け、一日の業務も学びもマンツーマンで。



漢字の練習【2】  
①手 (hand) て  
②足 (foot) あし  
③口 (mouth) くち  
④目 (eye) め  
⑤耳 (ear) みみ  
⑥上 (up/above) うえ  
⑦下 (down/below) した  
⑧右 (right) みぎ  
⑨左 (left) ひだり  
⑩中 (center/middle) なか

最初は取り組んだ食事配膳、おむつ交換、入浴時の衣類の脱着については、早い学生は3日ほどで覚えたそうだ。今は漢字に挑戦中。取組むのが目標だという。また、日本語学習には毎日13時から45分間を確保。一人ひとりの進捗に合わせて、職員が選択・作成したドリルに取組む。2週間程度でひらがなは全員が習得し、現在は漢字や文法を学んでいる。

語学習には毎日13時から45分間を確保。一人ひとりの進捗に合わせて、職員が選択・作成したドリルに取組む。2週間程度でひらがなは全員が習得し、現在は漢字や文法を学んでいる。

職員との業務上のコミュニケーションに関しては、正確に伝える必要があるため現在は翻訳アプリを活用しているが、帰国までに翻訳なしになるのが目標だ。

「受入れ前はコミュニケーションが心配されましたが、職員からは『明るく積極的なので一緒に働くのが楽しい』、また利用者からも『部屋に来てくれるのが楽しみ』といった声も上がっています」（宮川氏）。

また、受入れには住居LDKの一軒家を用意した。個人の部屋があることで、プライベートの空間が確保され、学生たちは非常に喜んでいました。調理やイベント、業務の振り返りなどはリビングで一緒になって取り組んでいるようです」と宮川氏。

4人のインターン生は皆が日本での介護の仕事を楽しんでいると話す。学生の一人アイティさんは「わ

心して取り組んでいます。込んだ。タツフトでは6月開始現在募集中。事業に関する問合せは同社（☎03・3779・6186）まで。

現在募集中。事業に関する問合せは同社（☎03・3779・6186）まで。

現在募集中。事業に関する問合せは同社（☎03・3779・6186）まで。